

地域・在宅看護論概論③

追加

2026年7月9日(木)

井坂 衣莉

倫理を考える上でのチェックポイント

★その人にとっての暮らしは続いている

その人の意向が尊重される環境を守りながら
暮らしを支援する

★本人・家族のつらさを医療者がまったく同じように
体験することは不可能

医療者の価値観で暮らしを整えない

★家族のつらさが置き去りになる可能性がある

「大切な家族を喪っていくつらさ」にも焦点をあてて考える

まとめ

在宅看護のジレンマ

- 唯一の正解はない

本人にとっての**最善**を「どうしていいか」と

絶えず考え続けることが答え

- 鍵となるのがその状況に関わっている人たちの**価値観**
療養者・家族で価値観が異なる場合もある
医療従事者も職種によって違いがある
- 最も優先すべきは、**本人**の意向を尊重した**最善の選択**をすること・・

訪問看護は、病気を看るのではなく**生活を看る**
その人がどんな生活を送りたいのかを
一緒に考えることが大切

「何か変だな」「これはおかしい」と感じた時

誰かに聞いてもらおう！

- ・黙ったままにしているといつの間にか忘れてしまう。
- ・そのうちに当たり前のように思い、何も感じなくなり、無関心になってしまいます。

仲間を増やそう！

- ・三人寄れば文殊の知恵
- ・一人では困難なことも仲間がいれば乗り越えることもできます。

そして、倫理観は育つ

